甲武信岳

2023.05.19 甲武信岳
日程：2022.05.23
山域：奥秩父
参加：S 藤、OB1 名　計 2 名
天候：晴れ
行動：
05:50 毛木平→07:40 滑滝→09:30 千曲川源流→10:45 甲武信ヶ岳 11:10→12:20 三宝山→13:40 武信白岩山→14:00 武信白岩山（北峰）→15:00 大山→16:00 十文字小屋→17:30 十文字・源流分岐→17:40 毛木平

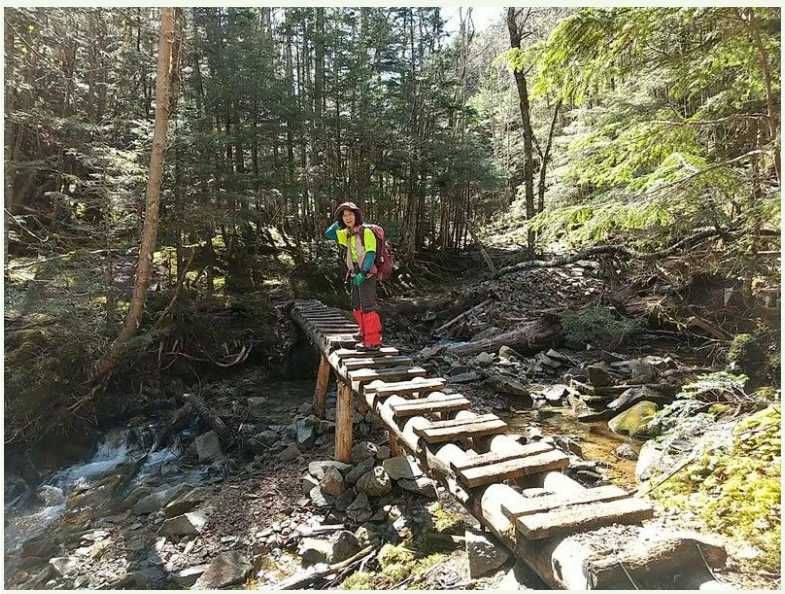
甲斐・武蔵・信濃を結び、甲武信岳と云わしめる秀峰
千曲川源流沿いに歩けば、名残の雪渓も僅かに残れど、あれもう頂上？と思わせるほど穏やかな登り道

片やピークから、三宝山、大山方面へと降りに向かえば、尖塔が幾つも立ちはだかり、鎖の連続に超えられるだろうかと思わせる程難所ルートの連続、それでも少し高度を下げれば咲き始めたシャクナゲの美しい尾根、女性的な登りと男性的な下り（この頃こんな表現は非難の対象でしょうか？）硬軟織り交ぜた厳しくも甲武信岳、ここもまた楽しい山巡りでした

毛木平登山口

山津波による林業関係者慰霊碑

綺麗な滑滝です



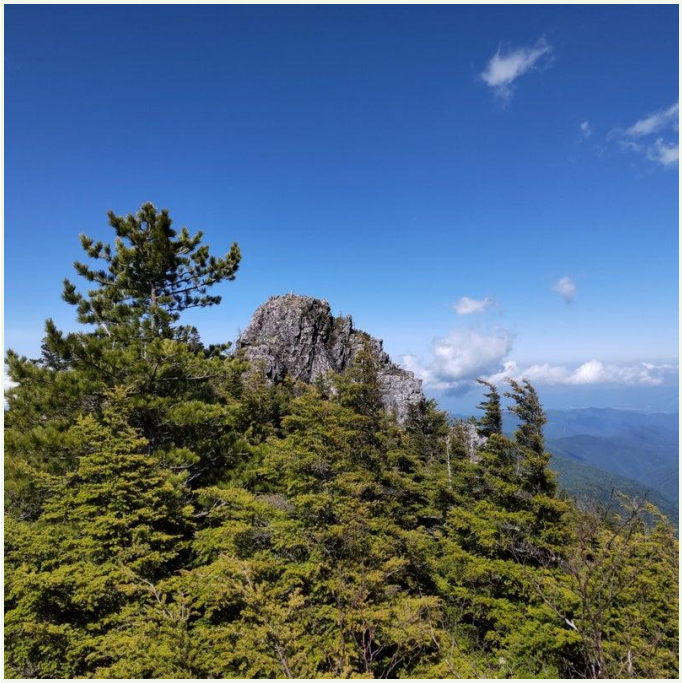
「煙は高し浅間山~#　流れは遠し千曲川♭~」と、口ずさみ、「子供のころ騎馬戦の入場歌で歌った信州男児の歌」とは、ご機嫌なパートナー
「千曲川は、ここ甲武信岳から流れ出し、高瀬川と梓川から流れ出した犀川と併せ信濃川となる」と益々熱が入る

ここが千曲川源流ですって

間もなくピーク

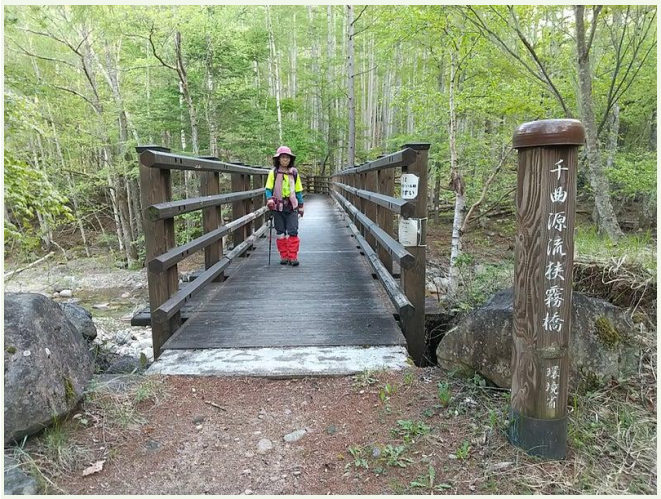
甲武信岳のお隣の山(実は甲武信岳より高く埼玉県最高峰ですって)

このような尖頭が幾つも続く、トラバースする山、超える山と様々



大山　少し高度が下がると咲き始めていました

間もなく登山口です


千曲源流狭霧橋